

行田市ふるさとづくり事業（A・B・C事業）の審査について

1. 審査方法

提案されたA・B・C各事業について「2. 審査基準」に基づきそれぞれ審査を行う。

(1)A事業(日本遺産構成資産等建築物改修・活用事業)

提案書類及び公開プレゼンテーション(現地確認を含む)による審査

(2)B事業(行田らしいまち並みづくり事業)及びC事業(おもてなし・にぎわい創出事業)

提案書類による審査

2. 審査基準

各委員は、次の審査基準に基づき、審査項目ごとに「○」「△」「×」で審査(評価)を行う。

※「評価」欄

○：ふるさとづくり事業として実施することに適した提案

△：事業内容を一部修正(精査)することにより、ふるさとづくり事業として実施することに適した提案

×：ふるさとづくり事業として実施することに適しない提案

※「評価の理由」欄

「評価」欄に「△」又は「×」を記入した場合は、改善点等指摘事項を記入する

<A事業>

審査項目	審査の視点	評価	評価の理由(改善点等指摘事項)
地域性	一定のエリア内(行田地区及びその周辺)に該当するか、又は日本遺産の構成資産であるか		
施工業者	市内事業者の施工であるか(市外事業者が施工する場合は、適切な理由があるか)		
建築物の価値等	歴史的建築物に該当するか		
	歴史的価値を損なわない改修・改造であるか		
妥当性	事業の目的や内容がふるさとづくり事業の趣旨に合致しているか		
	事業内容や事業費、スケジュールは妥当か (補助対象経費以外の費用が含まれてないか) (積算額は妥当か)(事業内容や実施方法は具体的に考えられているか)		
貢献性	まちの活性化や賑わい創出が期待できるか		
発展性	将来に向けて波及効果が期待できるか		
継続性	10年以上にわたり活動が期待できる事業計画となっているか		
その他特記事項			

2. 審査基準（つづき）

<B事業>

審査項目	審査の視点	評価	評価の理由(改善点等指摘事項)
地 域 性	一定のエリア内（行田地区及びその周辺）に該当するか		
施 工 業 者	市内事業者の施工であるか（市外事業者が施工する場合は、適切な理由があるか）		
対 象 者	建築物等の所有者又は借受人か		
妥 当 性	事業の目的や内容がふるさとづくり事業の趣旨に合致しているか		
	事業内容と事業費、スケジュールは妥当か （補助対象経費以外の費用が含まれてないか） （積算額は妥当か）（事業内容や実施方法は具体的に考えられているか）		
	まち並み景観及び機能の観点から、改修の必要性が認められるか		
公 益 性 貢 献 性	まち並み景観に貢献するか		
そ の 他 特 記 事 項			

<C事業>

審査項目	審査の視点	評価	評価の理由(改善点等指摘事項)
地 域 性	一定のエリア内（行田地区及びその周辺）に該当するか		
施 工 業 者	市内事業者の施工であるか（市外事業者が施工する場合は、適切な理由があるか）		
対 象 者	建築物等の所有者又は借受人か		
妥 当 性	事業の目的や内容がふるさとづくり事業の趣旨に合致しているか		
	事業内容と事業費、スケジュールは妥当か （補助対象経費以外の費用が含まれてないか） （積算額は妥当か） （事業内容や実施方法は具体的に考えられているか）		
	観光サインや休憩施設等として、市が求める基準を満たしているか		
公 益 性 貢 献 性	おもてなし・にぎわい創出に貢献するか		
そ の 他 特 記 事 項			

3. 委員間の意見調整

委員会において、提案に係る各委員の審査結果を確認の上、委員間の意見調整を図る。

4. 審査結果のとりまとめ

「2. 審査基準」に基づく審査及び「3. 委員間の意見調整」を経て、委員会としての意見を集約し、補助金交付の妥当性について判断。もって市長へ報告する。